

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道理容美容専門学校
設置者名	学校法人 北光学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理容科	夜・通信	1,776 時間	160 時間	
	美容科	夜・通信	1,776 時間	160 時間	
	ビューティ&ヘアメイク科	夜・通信	1,776 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道理容美容専門学校
設置者名	学校法人 北光学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	全日本美容業生活衛生 同業組合連合会役員	2024. 6. 28 ～2026. 6. 27	経営計画の策定
非常勤	北海道美容業生活衛生 同業組合役員	2024. 6. 28 ～2026. 6. 27	経営計画の策定
非常勤	会社経営	2024. 6. 28 ～2026. 6. 27	経営計画の策定
非常勤	会社経営	2024. 6. 28 ～2026. 6. 27	経営計画の策定
非常勤	会社経営	2024. 6. 28 ～2026. 6. 27	経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道理容美容専門学校
設置者名	学校法人 北光学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各科目担当教員が授業方法及び内容、到達目標、成績評価方法・基準、使用教科書・教材、受講上の心得等を記載した授業計画書を前年10月末日までに教務課長に提出、教務課長は内容をチェックするとともに、11月末日までに授業計画作成会議(学務部長、教務課長、学科主任により構成)を実施し、意見交換、協議後、授業計画書(シラバス)を作成。授業計画書(シラバス)は、生徒が目標に到達できるように、授業概要や学習の意義を理解しやすく作成することを基本方針としており、入学時(4月)に配布するとともに、当校ホームページにおいても公表している。	
授業計画書の公表方法	<a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 入学時(4月)に配布する「生徒便覧」記載の規定により、以下の事項全てを満たす場合、学務部長、教務課で構成する認定会議を経て科目の履修を認定している。 ①各科目出席時数が規定時数以上であること。 ②規定の評価方法(筆記試験または実技試験)結果が、100点満点中60点以上であること。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  学期末試験(筆記)により評価する。一部教科(実習、サロン実務学)については、実技試験により評価する。成績評価は100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出することにより、客観的な指標を算出するとともに、成績の分布状況を把握している。成績評価方法については、入学時(4月)に配布する「生徒便覧」に記載。当校ホームページにおいても公表している。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  入学時(4月)に配布する「生徒便覧」内記載(当校ホームページにおいても公表)の卒業認定条件に関する規程により、以下の事項全てを満たした場合、教員で構成する認定会議を経て卒業を認定している。  (認定会議は卒業年の1~2月に2回実施)  ①2年次の総欠席時数が100時間以内であること  ②各科目の総出席時数があらかじめ設定している卒業認定時数以上であること  ③各科目の評価が全て60点以上であること  ④学費を納入していること</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道理容美容専門学校
設置者名	学校法人 北光学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>
財産目録	<a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>
事業報告書	<a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生分野		専門課程	理容科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	2,010 単位時間/単位	546 単位時間 /単位		1,614 単位時間 /単位			
			2,160 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人		83人	0人	4人	3人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教務課において各科目担当教員に授業内容、到達目標等について確認後、学務部長、教務課長、学科主任による会議を経て授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出することにより、客観的な指標を算出している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業、進級認定に関する規定により卒業、進級条件を定め、学校長、教員で構成する認定会議を経て卒業、進級を認定している。
学修支援等
（概要） 担任、学科主任による個別相談、指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	22人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 理容室			
(就職指導内容) 担任、就職担当による面談及び校内企業説明会、業界関係者による講義の実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理容師国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	4人	6.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席状況に応じ、早期に担任、学科主任による個別面談、三者面談を実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010 単位時間/単位	546 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,614 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,160 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	187人	0人	9人	2人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教務課において各科目担当教員に授業内容、到達目標等について確認後、学務部長、教務課長、学科主任による会議を経て授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出することにより、客観的な指標を算出している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業、進級認定に関する規定により卒業、進級条件を定め、学校長、教員で構成する認定会議を経て卒業、進級を認定している。
学修支援等
（概要） 担任、学科主任による個別相談、指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
87人 (100%)	0人 (0%)	87人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 美容室			
（就職指導内容） 担任、就職担当による面談及び校内企業説明会、業界関係者による講義の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
183 人	8 人	4.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席状況に応じ、早期に担任、学科主任による個別面談、三者面談を実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		専門課程	ビューティー& ヘアメイク科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010 単位時間/単位	546 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,614 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,160 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	25人	0人	2人	1人	3人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教務課において各科目担当教員に授業内容、到達目標等について確認後、学務部長、教務課長、学科主任による会議を経て授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出することにより、客観的な指標を算出している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業、進級認定に関する規定により卒業、進級条件を定め、学校長、教員で構成する認定会議を経て卒業、進級を認定している。
学修支援等
（概要） 担任、学科主任による個別相談、指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 本年度完成年度につき不記載			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席状況に応じ、早期に担任、学科主任による個別面談、三者面談を実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科・美容科	100,000 円	762,000 円	465,000 円	施設設備費、教材費、諸費
ビューティー& ヘアメイク科	100,000 円	762,000 円	527,000 円	施設設備費、教材費、諸費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 評価規程で設定している方法、体制により実施 ・評価項目…教育活動、学校運営など ・評価委員会の構成…生徒の保護者、理美容企業関係者、本校卒業生 ・評価結果の活用…学校長は、委員会による評価結果をまとめ、1ヶ月以内に報告書を作成、教職員は評価結果を活用し、教育活動、学校運営の質の向上に努める。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
Y' s hair -SAHARA-	2024. 4. 1～2025. 3. 31	生徒保護者
タカラベルモント株式会社	2024. 4. 1～2025. 3. 31	理美容企業関係者
Men' s Salon bloc	2024. 4. 1～2025. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html">https://h-ribi.ac.jp/other/about/index.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
-----------------------------

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H101310100049
学校名 (〇〇大学 等)	北海道理容美容専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人北光学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		56人 (0)人	51人 (0)人	56人 (0)人
内 訳	第Ⅰ区分	25人	21人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	19人	15人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	11人	11人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	-人	-人	
区分外 (多子世帯)	0人	0人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 (0)人
合計 (年間)				56人 (0)人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、 高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2 年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	11人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	11人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。